

## 新居浜市学校給食施設整備基本計画の見直しに関する 意見募集の結果について

令和2年8月6日

新居浜市教育委員会事務局学校給食課

1 意見募集期間 令和2年7月1日(水)～令和2年7月22日(水)

2 意見提出人数 個人 242人 団体 5団体

3 意見提出件数 87件

4 意見の概要と意見に対する考え方

※1人で複数の御意見提出の場合もあるため、意見提出人数と延べ人数合計は一致しません。

番号	提出された意見の概要	延べ 人数	意見に対する考え方
現計画の見直し部分に関する御意見			
○ 新学校給食センター(7, 100食)整備に係るリスク等について			
1	7, 100食規模のセンターは全国にどのくらいあり、リスク等の調査は行っているのか。	3	文部科学省の学校給食実施状況調査によりますと、平成30年5月1日現在、公立小中学校で5, 001人から7, 000人規模の共同調理場が116か所、7, 001人以上の規模の共同調理場は87か所設置されています。
2	7, 100食規模のセンター建設において、どこか参考にした施設はあるのか。	1	見直しの検討にあたりましては、新居浜市が掲げる「学校給食施設整備の基本方針(10項目)」に合致する同規模以上の施設を参考にしております。
3	少子化なのに、大規模センターの運営は必要なのか。	1	今回の基本計画は、当初計画時より児童生徒数の減少幅が小さくなったため、提供食数の見直しを行ったもので、現時点では全体10, 500食分の施設整備が必要と考えています。

4	感染症等のリスクを考慮して、当初計画通り3センターの整備計画としてほしい。	23	<p>御意見のとおり、食中毒や異物混入等に対する衛生管理が極めて重要と考えています。新学校給食センターの整備・運営にあたりましては、基本計画の「第3章 学校給食施設整備の基本方針の達成可能性 (1) 学校給食衛生管理基準の遵守と管理運営について」に記載のとおり、平成21年に改正された「学校給食衛生管理基準」に基づき、調理場を汚染作業区域、非汚染作業区域、その他の区域に分け、物資の検収・搬入から調理、配送及び洗浄・消毒までの一連の作業工程や作業動線がスムーズに行えるようなレイアウトとするとともに、ドライシステムを導入するとともに、平成29年6月に最終改正された「大量調理施設衛生管理マニュアル(厚生労働省)」に基づき、衛生機能を高めた最新の施設として整備します。</p> <p>さらに、異物混入や食中毒事故等の発生を未然に防ぐため、HACCP(製造における重要な工程を連続的に監視することにより、個々の製品の安全性を保証する衛生管理手法)の考え方に沿って、物の流れや人の流れの各段階に応じた、より徹底した安全衛生管理に取り組み、より安全安心な給食を提供します。</p>
5	自校方式の良さを残したり、リスクの分散を図るためには、3あるいは4センターでの整備が必要ではないか。	7	
6	食中毒等のリスクを考慮すると、4センターでの整備が必要と思われる。	5	
7	7, 100食のセンター整備は無理があるため、アレルギー、食中毒及び異物混入等への対応が適切に行える規模としてほしい。	32	
8	センター化するのであれば、小規模のセンターをいくつか建てる方が良いのではないか。	8	
9	7, 100食規模のセンターでは、食中毒発生のリスクが増すのではないか。	6	
10	7, 100食規模のセンターでは、より衛生面に気を付けてほしい。	4	
11	災害時のリスクを考慮して、当初計画通り3センターの整備計画としてほしい。	5	
12	7, 100食規模のセンターでは、緊急時の対応が難しいのではないか。	16	
13	7, 100食規模のセンターでは、食中毒等により長期間調理が出来ない場合、代用施設が無い場合給食がその間停止してしまう。	1	
14	7, 100食規模のセンター建設において、整備計画の基本方針10項目について、リスクマネジメントをどう考えているのか。	1	<p>徹底した衛生管理のもと「安全安心」で美味しい給食を提供するため、災害等の緊急時にも迅速に対応するため、直営で運営する方針としています。</p> <p>災害時につきましては、基本計画の「第3章 学校給食施設整備の基本方針の達成可能性 (9) 災害時に対応できる施設整備について」に記載のとおり、必要と想定される設備を整備することとしています。</p> <p>また、センターの大規模化により考えられるリスクにつきましては、現学校給食センターのノウハウを活用するとともに、7, 100食に対応するマニュアルに更新いたします。</p>
15	計画変更案に基づき整備を行う場合、災害時の対応として企業等の連携や対応マニュアルの作成が必要ではないか。	1	

○ アレルギー対応について			
16	アレルギー対応を適切に行うため、当初計画通り3センターの整備計画としてほしい。	5	アレルギー対応を適切に行うことは、整備方式や施設の数に関わらず優先すべき事項であると考えており、今回の見直しにおいても基本方針10項目の一つとして堅持することとしています。 現在、本市では「新居浜市の学校における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、小学校、学校給食センターともに対応を行っています。センター化後につきましても、小中学校や保護者との連携を図るとともに、センター内にアレルギー対応給食を調理するための独立した設備を設けるとともに、必要な人員の確保に努め、より安全・安心な給食の提供に努めてまいります。
○ 地産地消の推進について			
17	7, 100食規模のセンターでは、地産地消の推進は難しいのではないかと。	5	地産地消等につきましても、整備方式や施設の数に関わらず推進すべき事項であると考えており、今回の見直しにおいても基本方針10項目の一つとして堅持することとしています。
18	7, 100食規模のセンターでは、食材を供給できない業者もあるのではないかと。	1	地産地消を推進するため、米と青果の納入業者とセンター化後の対応について協議を行っております。その際には、現在の納入業者の不利益とならないよう、納入方法等についても協議を進める予定です。
19	地元農家と契約し、地産地消を推進してほしい。	2	
20	子どもたちの米食離れを食い止め、地元農家を支えるためにもパン食を減らし、ご飯を増やしてほしい。	2	米食とパン食を併用することは、献立の充実や和洋中のバランスの良い給食提供にもつながりますことから、今後も、現在行っているような米食とパン食の併用を続けたいと考えております。
○ 温かくおいしい給食の提供について			
21	温かい給食を子どもたちに食べさせるためにも、当初計画通り3センターの整備計画としてほしい。	6	平成29年度に実施した中学生を対象としたアンケートにおいて、学校給食センターから配送された給食を「おいしい」と思っている生徒が72.4%、「おいしくない」が3.7%で、「おいしい」が「おいしくない」を68.7%上回る結果となっており、現状は適温でおいしい給食が提供できていると考えています。
22	7, 100食規模のセンターでの調理で、おいしい給食を提供できるのか。	6	基本計画変更案の策定にあたりましては、2センターとなりましても、現学校給食センターと同等の20分以内の配送が可能となるよう、配送校の見直しを行っていますので、適温でおいしい給食の提供、調理後2時間以内の喫食が可能であると考えております。
23	7, 100食規模のセンターでは、調理終了後2時間以内の喫食を守るため、どの様に考慮するのか。	1	

○ 適切な人員の確保について		
24	センターの規模が大きくなるほど、時間に追われて手作り品が減るのではないかと。	1
25	2センターでの運営は負担が大きいため、当初計画通り3センターの整備計画としてほしい。	2
26	7, 100食規模のセンターでは、早朝勤務等が必要となり、人手不足になるのではないかと。	3
27	7, 100食規模のセンターでは、食品衛生管理上、より多くの人員が必要となるのではないかと。	1
28	センター化後の雇用計画はどうなっているのか。	1
29	センター化に伴い、勤務する調理員等職員の負担が大きくなるよう配慮してほしい。	5
30	調理員等の雇用について問題は無いのか。	5
31	栄養士や調理員の数は減らさず、アレルギー対応等の安全性を強化してほしい。	1

○ 建設費用・コストについて			
32	コストが削減されるとの事だが、オリンピックの様に当初予算よりとんでもない額に増えたりしないか。	1	現時点では、他自治体における同規模程度の施設を参照して算出しているため、概算となっております。
33	建設費用は、どのセンター等を参考にしているのか。また、新居浜市が予定している給食提供方法の施設でないと参考にならないのではないか。	1	建設費用につきましては、他自治体における同規模程度の施設を参照し、公設公営での運用を想定して算出しております。
34	建設費用は、どの様な運用方法を想定して算出しているのか。	1	
35	施設整備について、コストではなく子どもたちのことを最優先に考え進めて欲しい。	17	今回の計画見直し理由につきましては、決してコスト優先ではなく、可能な限り早く整備を行い、安全・安心な給食を子どもたちに提供することが最重要の課題であると考え、判断したものでございます。
36	コストばかり追求して、食の安全は守られるのか。	1	
○ 事業スケジュールについて			
37	早期に安全安心な給食を提供するためにも、計画変更案に基づき整備を進めてほしい。	3	市といたしましても、早期に整備を完了するためには、2センターでの整備への計画見直しが必要であると判断し、変更計画を提案させていただきます。
38	令和5年度での整備完了にこだわらず、計画を再度見直した方が良いのではないか。	10	基本計画に定めたとおり、可能な限り早く安全・安心な給食を子どもたちに提供することが急務であるとの認識に基づき、今回の計画見直しに至っております。

その他の御意見		
39	7, 100食規模のセンター建設における、子どもたちへのメリットは何か教えてほしい。	1 今回の計画見直しを行った第一の理由は、可能な限り早く整備を行い、安全・安心な給食を子どもたちに提供することが最重要の課題であり、そのことが子どもたちにとっての最大のメリットであると考えています。
40	今回の変更は、食数が増えるだけが問題ではないので、再度、検討委員会等での検討が必要ではないか。	1 学校給食検討委員会では、施設数まで決定しておらず、「安全・安心な給食の提供を基本に、当初の建設費用等はもちろんのこと、将来的な財政負担が重くならないよう給食の実施に係るコスト面を考慮したうえで、早期にかつ公平に学校給食の安全・安心を確保するという観点から、センター方式により整備することが適当である」との答申を受け、教育委員会において総合的に判断し、センター化とする基本計画を平成29年度に策定しました。
41	検討委員会の段階で7, 100食規模の想定での話し合いがあれば、センター方式へ決定とならなかったのではないか。	1 このため、今回の変更は、可能な限り早く整備を行い、安全・安心な給食を子どもたちに提供することが最重要の課題ととらえ、建設方式ではなく、センター数や整備場所等、必要最低限の変更を行いました。
42	川東地区に建設適地が無いのであれば、整備方式を含めて再議論すべきである。	1 なお、基本計画では、学校給食検討委員会からの答申に基づき、「10項目の基本方針」を重視すべき目標として掲げておりますので、変更計画に基づく施設整備につきましても、基本方針を堅持し取り組んでまいります。
43	当初計画では、東部センター建設用地について2019年度に買収予定となっていたが、買収困難が判明した時点で、他の候補地を探すなどの見直しが必要だったのではないか。	1 基本計画策定時には、新たなセンター建設用地を決定していたわけではありません。計画策定後、川東地区内の候補地を5か所選定し、慎重に調査したところ、最終的に全て断念せざるを得なくなったため、川西地区に併せて整備することとしたものです。
44	川西地区の建設予定地における環境は問題無いのか。	1 建設予定地における周辺環境等につきましては、特に問題は無いものと考えております。
45	施設整備においてコスト削減になるのであれば、まだ使用可能な機器や食器等を利用することを考えてほしい。	1 貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。
46	施設整備において、機器等の選定時に省エネの項目を考慮してほしい。また、廃食油を燃料に変える事業も継続してほしい。	1

47	現業務を改善し新センターの設備へ反映させるため、業務関係のコンサルタントも必要ではないか。	1	<p>新学校給食センターの設備や設計につきましては、高度な専門的知識と豊富な経験を有した事業者支援に支えていただく予定です。稼働開始時におきましても、事業者のサポートを受けられるよう計画したいと考えております。</p> <p>また、施設整備につきましては、現場の皆様様の御意見が設計に十分反映されるよう努めてまいります。</p>
48	稼働時のサポート体制はあるのか。	1	
49	現センターでも配食時に混雑してしまうが、その点も考慮された設計になるのか。	1	
50	施設整備について、調理員、栄養士、先生、保護者の方々からの要望をよく聞いて進めてほしい。	31	
51	将来的に民営化にならないか心配である。	5	<p>学校給食をすべて民間に任すという民営化は考えておりません。</p> <p>ただし、全国では5割以上の自治体が業務の一部を委託している状況であり、国も推奨していることから、今後も様々な情報の収集を行ってまいります。</p>
52	市民にしっかり周知され考える期間をもうけてから、もう一度パブリックコメントをしてほしい。	4	<p>パブリックコメントは、市の意思形成過程における公正の確保、及び透明性の向上を図るための制度でございます。</p> <p>今回、多くの皆様から貴重な御意見を提出していただき、改めて感謝を申し上げます。御意見につきましては十分考慮し、より良い施設整備へ向けて反映できるよう努めてまいります。</p>
53	供用開始時期や自校方式は対象外など、今回のパブリックコメントの内容を見ると、本気で市民の声を聞こうとしているのか。	1	
54	供用開始時期が示されているが、具体的な給食内容や運営方法が示されていないと、パブリックコメントを実施する意味が無いのではないかと。	1	
55	今回のパブリックコメントについては、市民への説明が不足しているのではないかと。説明方法を工夫したり、意見募集の趣旨について明確にすべきではないかと。	1	
56	整備計画や進捗状況について、市政だよりやホームページ等での情報開示に努めてほしい。	4	
			<p>施設整備の周知は大変重要なことであるため、今後より一層、市政だよりやホームページ等による広報に努めてまいります。</p>

現計画(センター化等)に関する御意見			
57	感染症のリスクを考慮すると、自校方式を残すべきである。	41	平成25年度の新居浜市学校給食検討委員会におきまして、自校方式、センター方式それぞれのメリット、デメリットを整理された答申を受け、教育委員会として総合的に判断し、センター方式による整備基本計画を策定しました。 今回の見直しは、候補地の選定が難航し、整備スケジュールに遅れが生じておりますが、可能な限り早く整備を行い、安全・安心な給食を子どもたちに提供することが最重要の課題ととらえ、現計画どおりに令和5年度中に最新の衛生管理の整った新施設の供用を開始するために基本計画の変更を行うものでございます。
58	異物混入時のリスクを考慮すると、自校方式を残すべきである。	7	
59	センター方式だと、配送時における事故等の危険性があるため、自校方式を残してほしい。	4	
60	一部の自校方式を残し、センター方式と併用して整備を進めてほしい。	12	
61	食育を適切に行うためにも、自校方式を残してほしい。	24	現在と同様に市費で雇用した栄養士がセンター内の業務を行い、県配置の栄養教職員が対象校の巡回指導を行うことにより、食育の推進に努めてまいります。
62	センター化されても、食育の推進は可能なのか。	5	
63	子どもたちへの食育を優先して考えてください。	3	センター化は、可能な限り早く整備を行い、安全・安心な給食を子どもたちに提供するため、総合的に判断したもので、決してコストのみを重視した結果ではありません。食育に関しても、学校給食検討委員会から、今まで培ってきた食育の停滞がないように要望があり、栄養士の適切な配置により対応したいと考えています。 なお、今後も、現場の声が十分反映される様、関係者の皆様との連携を図りながら、施設整備を進めると共に、整備計画の周知は大変重要なことであるため、今後より一層、市政だよりやホームページ等による広報に努めてまいります。
64	整備計画について、子どもの食育、健康を一番に考え、情報開示に努めてほしい。	9	
65	コスト重視で食育等が軽視されている様を感じる。現場で働いている方達の意見はきちんと反映されているのか。	2	
66	アレルギー対応を適切に行うため、自校方式を残してほしい。	12	アレルギー対応につきましては、「新居浜市の学校における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、小学校、学校給食センターともに対応を行っています。 センター化後につきましても、小中学校や保護者との連携を図るとともに、センター内にアレルギー対応給食を調理するための独立した設備を設けるとともに、必要な人員の確保に努め、より安全・安心な給食の提供に努めてまいります。
67	センター化されても、適切にアレルギー対応等が行われるのか教えてほしい。	14	
68	センター化されても、アレルギー対策に万全を期してほしい。	5	



69	地産地消を考慮すると、自校方式を残すべきである。	14	<p>現在、給食の食材につきましては、小学校と学校給食センター共に、基本的に同じ食材を同じ業者に発注し、共同で作成した献立で給食を提供しております。また、国産品、中でも地元産品の使用増を目指しております。提供食数が増えることにより、一定量の加工品の使用の増加は見込まれますが、その際も添加物の多い加工品を使わない等、食の安全確保を図ってまいります。</p> <p>なお、特に米と青果の地産地消推進のため、納入業者とセンター化後の対応について協議を行っております。</p>
70	センター化すれば加工食品の使用が増えるので、自校方式を守ってほしい。	7	
71	センター化しても、加工食品を増やさず、自校方式の様に手作りを続けてほしい。	2	
72	センター化されても、地産地消を推進してほしい。	5	
73	バイキング給食などの特別給食を続けるためにも、自校方式を守ってほしい。	8	
74	センター化されても、バイキング給食などの特別給食について対応可能なのか。	9	
75	センター化されても、バイキング給食等の特別給食について、子どもたちを優先して柔軟に対応してほしい。	4	
76	センター化後、市民が希望すれば試食できる機会を設けてほしい。	1	<p>学校給食検討委員会から、バイキング給食等の特別給食に対応するよう要望をいただいておりますので、実施可能なセンターとして整備予定です。</p> <p>また、市民の給食に対する理解が深まる様、試食会についても実施を検討しています。</p>
77	子どもたちに、できたての温かい給食を食べさせるために、自校方式を守ってほしい。	24	<p>平成29年度に実施した中学生を対象としたアンケートにおいて、学校給食センターから配送された給食を「おいしい」と思っている生徒が72.4%、「おいしくない」が3.7%で、「おいしい」が「おいしくない」を68.7%上回る結果となっており、現状は適温でおいしい給食が提供できていると考えています。</p> <p>基本計画変更案の策定にあたりましては、2センターとなりましても、現学校給食センターと同等の20分以内の配送が可能となるよう、配送校の見直しを行っておりますので、適温でおいしい給食の提供、調理後2時間以内の喫食が可能であると考えております。</p>
78	調理員さんと子どもたちとの交流を続けるためにも、自校方式を残してほしい。	29	<p>早期に「学校給食の安全安心」を確保するため、センター方式により整備することが適当であると判断いたしました。学校給食検討委員会からも「自校方式の良い所はできる限り取り入れること」との意見いただいております。</p> <p>そのため、センター化後は、児童のセンター訪問、調理従事者の学校訪問等を計画、実施することにより、できる限り児童と調理従事者がふれあえる機会をつくりたいと考えています。</p>

79	災害時のリスクを考慮すると、自校方式を残すべきである。	15	新学校給食センターにつきましては、自家発電装置や備蓄倉庫など、災害時に対応できる施設整備を進める計画としています。
80	センター化すると、自校方式の調理室が無駄になりもったいない。	1	各小学校の給食室につきましては、センターからの給食をクラスごとに仕分けする配膳室として利用する計画です。
81	センター化にあたって、緊急時の連絡体制等の整備に万全を期してほしい。	1	現学校給食センターのノウハウを活用するとともに、7, 100食に対応するマニュアルに更新いたします。
82	センター化後、学校行事等による給食時間の調整について配慮してほしい。	4	現学校給食センターでの対応と同様に、学校と連携して調整を行う予定です。
83	整備計画について、どの様に作成・決定されたのか。	5	給食施設の整備方式検討において、現場の先生方や保護者の皆さんの御意見を計画策定に反映するため、平成25年度の学校給食検討委員会では、小・中学校長、栄養教職員及び調理員、PTAの代表者の方にも委員として参加していただき、検討課題をそれぞれの組織内に持ち帰って幅広く協議をしていただきました。その結果、最終的に、子どもたちのために早期に整備を行い、安全・安心な給食を提供するには、センター方式により整備することが適当、との結論となったものと認識いたしております。
84	整備計画について知らない保護者が多いが、周知がほとんどされていないのではないのか。	2	また、平成29年度に現計画を策定した際にも、現場の先生方や保護者の皆さんと意見交換を行うと共に、パブリックコメントによりいただいた市民の皆さんから御意見を十分考慮し、計画を策定いたしました。今回の見直しにあたりましても、各種関係者等への説明を行い、変更案を策定いたしました。今後におきましても、現場の先生方、保護者の皆様とも連携し事業を進めてまいります。
85	検討委員会での討議では、自校方式を支持する意見が多かった。また、予定していた保護者へのアンケートも行わず、なぜセンター化が決定したのか。	1	安全・安心な給食の提供を基本に、財政負担が重くならないようコスト面も考慮した結果、センター方式により整備することが適当と判断いたしましたので、市民の皆様にも御理解いただいているものと考えております。
86	巨額の税金を投じて作る給食センターは、多くの市民が望んでいることなのか。	1	平成30年3月策定の現計画では、126人、3団体の皆様から、135件の御意見をいただきました。主な内容としましては、食育、アレルギー対策、地産地消、特別給食、可能な限り早急な学校給食衛生管理基準に適合した施設への整備、児童と調理従事者とのふれあい等について、多くの御心配や御要望等でした。それらの御意見を「学校給食施設整備の基本方針(10項目)」を定めて堅持していくことや、整備スケジュールを1年早めること等、計画へ反映させていただいております。
87	センター化についてのパブリックコメントでは、多くの意見があったそうだが、その主な内容と計画への反映について伺いたい。	1	